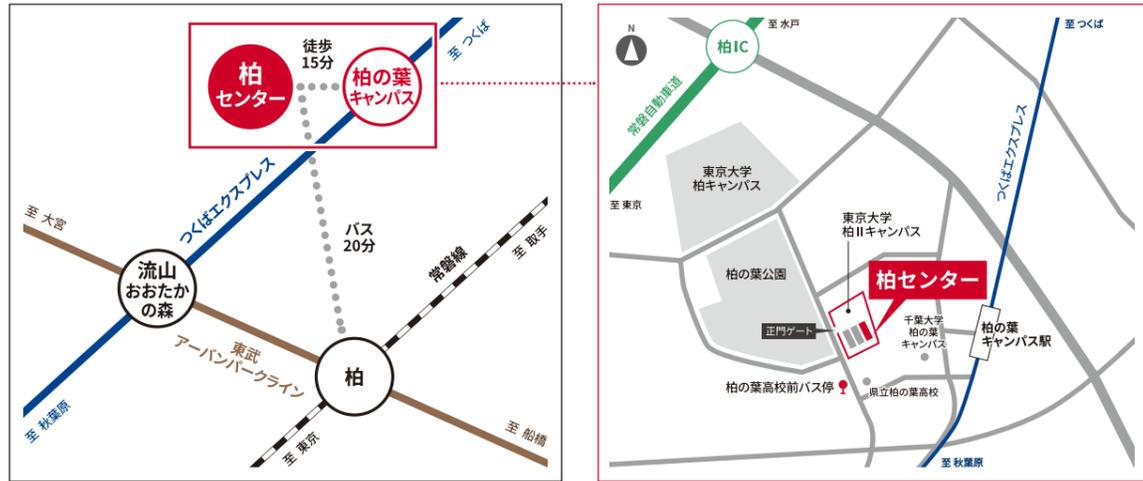


**アクセス**



●電車・バス

●つくばエクスプレス

「柏の葉キャンパス駅」下車 徒歩15分

●JR常磐線

「柏駅」下車

東武バス[西柏01][西柏02][柏44]で

「柏の葉高校前」(所要20分)下車 徒歩5分

●タクシー

「東京大学柏キャンパス」と混同されやすいためご注意ください

「柏の葉高校のとなりにある東京大学柏IIキャンパス」とお伝えください

●羽田空港・成田空港から

羽田空港からは京急バス・東武バス、成田空港からは成田空港交通による

柏駅・柏の葉キャンパス駅への直通バスがございます

くわしくは各バス会社のウェブサイトをご覧ください



国立研究開発法人 産業技術総合研究所

**柏センター**

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-3 東京大学柏II キャンパス

TEL 04-7132-8861(代表)

kashiwa-general-ml@aist.go.jp



●柏センター ウェブサイト

<https://www.aist.go.jp/kashiwa/>

# 人の暮らしを快適にする 技術を生み出す研究拠点

産業技術総合研究所柏センターは「柏の葉エリア」を研究拠点として、2018年11月1日に設立されました。当センター設立に合わせ、情報技術やロボット技術を活用し、人に寄り添い人の能力を高めるための研究推進を目的とした「人間拡張研究センター」が活動を開始しました。またそれに先立ち、2018年8月1日より大規模AIクラウド計算システム「ABCI」が本格運用を開始し、未来社会を創造する共創リーダーの育成を掲げた「産総研デザインスクール」の活動拠点の1つとしても、活用されてきました。

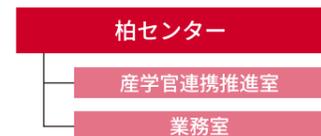
2025年1月20日にはABCI2.0が「ABCI3.0」へとアップグレードされ、従来システムと比較して、ピーク性能が7~13倍に向上しています。ABCI3.0の一般提供により、生成AIをはじめとした最先端AI技術の研究開発・評価・人材育成の加速が、期待されています。

また、2025年4月からは、人間拡張研究センターの研究活動を社会の機能拡張にまで発展させることを目指して、「人間社会拡張研究部門」が設置されました。同時に、「ウェルビーイング実装研究センター」「セルフケア実装研究センター」「センシング技術研究部門」など複数の研究ユニットとの連携も始まり、分野融合的な研究拠点としての役割を強化しています。

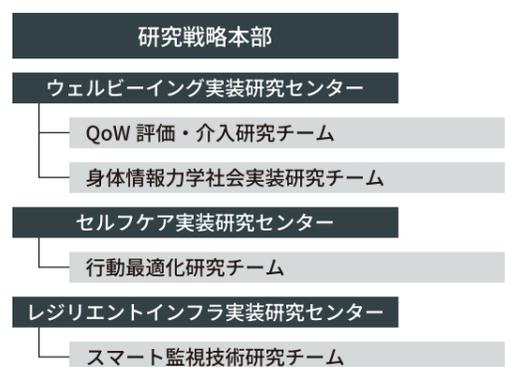
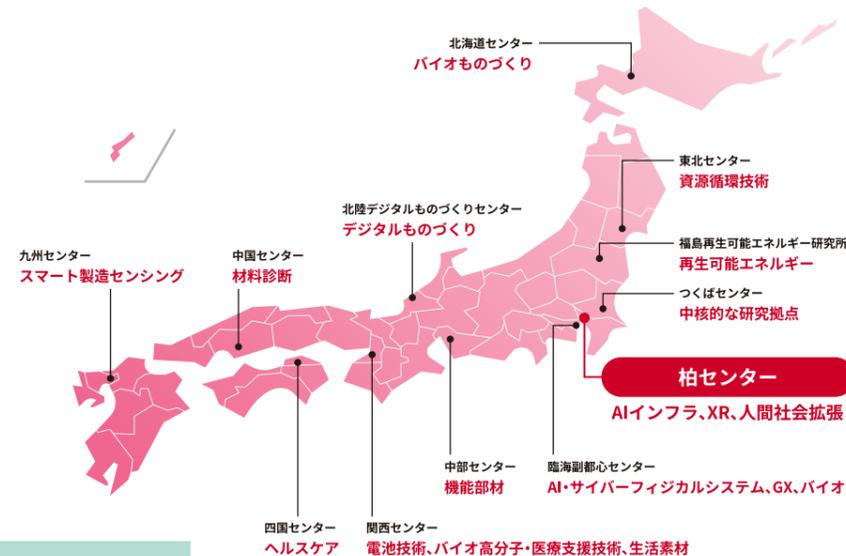
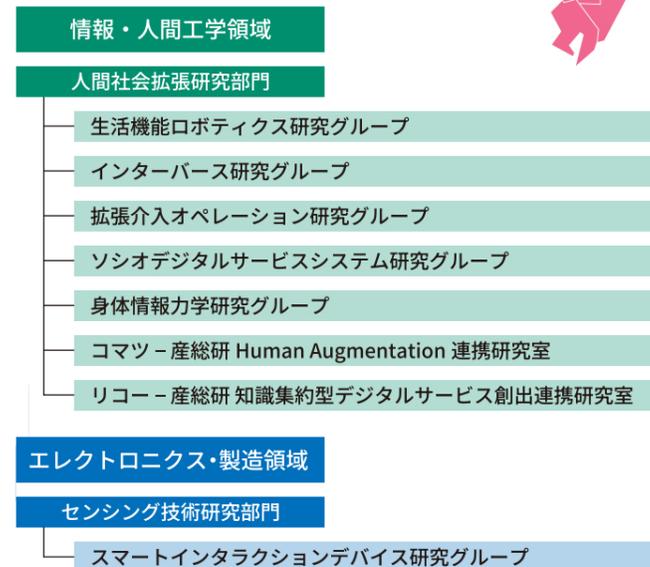


柏センター所長  
**蔵田 武志**

## ● 事業組織



## ● 研究推進組織



# 互いに高め合う人と社会

## 人間社会拡張研究部門

Research Institute on Human and Societal Augmentation

人間社会拡張研究部門は、生活や労働の質の向上と持続可能で包摂的な社会の実現を目指し、実環境とバーチャル環境を融合した新たな社会形態を構築するインターバース技術、心身や環境の状態を計測・評価する状態把握技術、動機づけや行動変容を促す介入手法、社会システムを設計・改善するサービスデザイン方法論、および産学官民の共創活動を支援するソーシャルラボに基づく研究開発を推進します。また、柏の葉と北陸を拠点とし、地域との連携を通じた新たな社会価値の創出を図ります。

## リアルとバーチャルが融合する社会に向けて

社会活動の根幹となる人々のコミュニケーションを拡張する技術開発を進め、その技術を活用した実験システムの構築、倫理的・法的・社会的な課題の解決に取り組みます。バーチャル世界で生み出された価値をリアル世界に還元できるように、インターバース空間の構築を進め、社会を構成する人々のウェルビーイングと社会の経済的発展が同時に実現することを目指します。



## ソーシャルラボを通じた連携と共創

厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」の一環として「柏リビングラボ」を運営し、地域の介護施設や大学などとも連携して、介護ロボットの開発実装支援・普及促進に取り組んでいます。また、柏の葉エリアの地域住民や関係組織と連携した地域共創型の研究開発・社会実装を推進する「ソーシャルラボ」として、高齢者住宅、地域交通、健康増進といった社会課題解決に向けた研究開発に取り組んでいます。



## 人と人、人と社会をつなぐデバイス開発

柏センターにはセンシング技術研究部門に所属する研究グループが所在し、プリントエレクトロニクスのための印刷装置、MEMS/マイクロフルイディクスデバイスのための微細加工装置、およびデバイスの評価計測設備を備えています。人・モノからこれまで得られなかったデータを収集し、その時の状況に合わせて機械的・心理的に介入することで人のウェルビーイングを向上させるシステムの構築を進めます。



## 進化したABCI (AI Bridging Cloud Infrastructure)

最先端AI技術の研究開発と社会実装を加速

産総研グループでは、2018年から産学官によるAI技術の研究開発と社会実装を加速するため「ABCI」を提供しています。ABCI 3.0は最先端AI技術の研究開発能力を強化するために、従来のABCIを大幅に刷新し、超大規模な言語モデルやマルチモーダルAIなど、世界に伍する最先端AI技術開発が可能になります。ABCI 3.0は、最先端AI技術の研究開発、評価、人材育成に優先的に提供され、生成AI開発加速プロジェクト「GENIAC」とも連携し、開発成果の迅速な社会実装に向けた取り組みを推進します。ABCI 3.0は、2025年1月20日より一般提供が開始されました。

